



今回は、「ハッピーメディア®地域みっちゃく生活情報誌 つっぴーす」などを発行している株式会社中広に設置されている、女性が働きやすい職場を作るためのプロジェクトチーム「CLIP」で活動している中世古さんと谷川さんにお話を聞きました。



株式会社中広 三重支社
谷川 麻衣さん 中世古 真希さん

CLIPの活動について教えてください

中世古さん CLIP(Chuco Ladies Innovation Projectの略)は、女性にとって社内の職場環境を改善するため、平成22年に女性役員が声を上げ発足されたプロジェクトチームです。CLIPの提言から、短時間勤務制度や看護休暇制度の充実、保育料補助やテレワーク*の制度導入が行われています。会議では「男女別のトイレを設置してほしい」「セクハラ・パワハラの問題について議論してほしい」などの意見が出されています。

*テレワーク…情報通信機器などを利用して、自宅や会社以外の場所で任された仕事を行う勤務形態

CLIPを立ち上げる前と立ち上げた後で会社の様子は変わりましたか？

谷川さん 変わりました。例えば、今までは産休・育休の制度はあったもののそれらを取得する社員はほとんどおらず、出産をする場合いわゆる「寿退社」をすることが当たり前といった雰囲気がありました。また、性別を問わず、毎日遅くまで働く人も少なくありませんでした。私自身も、子どもを産んでもこの仕事を続けたいと思っていましたが、激務で体調を崩し退職も考えたほどでした。上司に相談しながら、産休・育休を取得したのですが、会社として前例のないことで、私にとっても上司にとっても不安がいっぱいでした。

このような経験から、CLIP立ち上げ後も女性の立場から意見をしていきました。今では職場の環境が180度変わり、その人に応じた働き方が尊重



されるようになったと感じています。これは、取り組みが女性だけでなく誰にとっても働きやすい環境に

つながっているからだと思います。例えば、今までなら「子どもの保育園のお迎えに行きます」と言ったら、次の日に出勤しづらくなる雰囲気になりました。でも今では、どの社員にとっても帰りやすい雰囲気があり、性別を問わず職場で子育てやプライベートの話も増え、職場全体が明るくなったような気がします。もちろん私にとっても楽しい職場になりました。

今後の活動について聞かせてください



中世古さん 確かに、職場の雰囲気はずいぶん変わってきました。しかし、まだまだ課題もあると考えています。「女性だから」「男性だから」という分かりやすいものだけでなく、無意識の偏見や先入観から「子育て中は大変だろうから仕事量を減らそう」「きつい仕事を女性に任せるのは気の毒だ」など、配慮をしているつもりでも、本人が望んでいなければ成長機会や意欲を奪うことにもなり得ると思っています。

テレワークなどの制度をより運用しやすく改善していくと同時に、どのような立場の人であってもその人に応じた仕事の在り方や、その人「個人」を大切にできる「誰もが活躍でき、働きやすい職場づくり」に向けて、取り組んでいきたいと思っています。



取材者の感想

CLIPを中心に「誰もが活躍でき、働きやすい職場づくり」に向けて、動き始めている株式会社中広の皆さん。「働きにくさ」を感じてきた人たちの視点で組織の在り方を問い続けてきた取り組みが、その成果として芽を出してきているのだと感じました。